



平成17年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成16年8月17日

上場会社名 藤森工業株式会社

（コード番号：7917 東証第一部）

（URL <http://www.zacros.co.jp/>）

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 藤森 明彦

問合せ責任者 役職名 常務取締役 管理担当兼経理部長

氏名 飯島 崇夫

T E L (03) 3661-4211

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容) ① 一般債権に係る貸倒引当金の計算

前連結会計年度における貸倒実績率を用いて計算しております。

② 固定資産の減価償却の方法

年度見込額のうち当四半期分を計上しております。

③ 税金費用の計算

連結会社の個別財務諸表上の税金費用については、法定実効税率をベースとした、当年度の予測税率を用いて計算しております。

(2) 最近連結会計年度からの会計処理方法の変更の有無 : 無

(3) 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

(内容) 連結 (新規) 1社 (まつやゼロファン株式会社)

2. 平成17年3月期第1四半期財務・業績の概況 (平成16年4月1日～平成16年6月30日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	15,364	(12.8)	713	(-)	693	(-)
16年3月期第1四半期	13,625	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考) 16年3月期	61,609		2,208		2,198	

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
17年3月期第1四半期	423	(-)	27	48	-	-
16年3月期第1四半期	-	(-)	-	-	-	-
(参考) 16年3月期	1,227		77	27	-	-

(注) 売上高以外の四半期経営成績の開示は、前年同四半期については行っていないため記載しておりません。

また、売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

[経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等]

平成17年3月期第1四半期のおが国経済は原料価格の高騰などのマイナス要因もありましたが、民間設備投資や輸出などが堅調に推移し、個人消費にも明るい兆しが見られるなど、着実な回復を維持してまいりました。

このような経済環境の中、当社グループは成長分野である機能材料部門におけるIT関連製品の拡販に努めるとともに、包装部門の新たな生産拠点として建設した横浜事業所の稼働を開始し、今後の事業の拡大と収益基盤の構築を進めてまいりました。

その結果、機能材料部門ではLCD用プロテクトフィルムが大幅な受注増となり、情報記録用材、剥離フィルムも伸ばいたしました。また、包装部門につきましても環境対応型の詰替用包装材を主体に好調な推移となり、その他の分野も概ね計画に沿うものになりました。

当第1四半期における業績は、売上高153億6千4百万円（前年同四半期比12.8%増）、営業利益7億1千3百万円、経常利益6億9千3百万円、四半期純利益4億2千3百万円となりました。

## (2) 財政状態（連結）の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第1四半期	59,332	21,465	36.4	1,393 95
16年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考) 16年3月期	59,075	21,422	36.3	1,388 77

## 【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第1四半期	2,644	△2,108	△1,087	2,433
16年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考) 16年3月期	1,867	△2,627	883	2,964

(注) 四半期財政状態の開示は、前年同四半期については行っていないため記載しておりません。

## [財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末における総資産は、手形債権の流動化により受取手形が減少いたしましたが、横浜事業所の建設などにより固定資産が増加したことなどで、平成16年3月期末に対して2億5千7百万円増加の593億3千2百万円となりました。

負債につきましては、借入金は減少いたしましたが、設備の未払金が増加したことなどにより、平成16年3月期末に対して2億2千1百万円増加の375億4千6百万円となりました。

株主資本は平成16年3月期末に対して4千3百万円増加の214億6千5百万円、株主資本比率は36.4%となりました。

## [キャッシュ・フローの状況]

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により得られた資金が税金等調整前四半期純利益の6億9千9百万円に加え、手形債権の流動化などによる売上債権の減少が33億3千7百万円あったことなどから、26億4千4百万円となり、投資活動の結果支出した資金は横浜事業所建設に伴う有形固定資産の取得などにより21億8百万円、財務活動により支出した資金は借入金の返済などにより10億8千7百万円となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末の残高は24億3千3百万円となりました。

[参考] 平成 17 年 3 月期の連結業績予想 (平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日)

		売 上 高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
		百万円	百万円	百万円	円 銭
今回発表予想 (A)	中間期	31,900	1,200	650	42 21
前回発表予想 (B)	中間期	31,100	900	500	—
増 減 額 (A) - (B)	中間期	800	300	150	—
増 減 率 (%)	中間期	2.6	33.3	30.0	—

[連結業績予想に関する定性的情報等]

平成 17 年 3 月期中間期予想については、機能材料部門及び包装部門を中心に好調に推移しており、上記の通り修正いたします。なお、通期の業績予想については中間決算発表時に見直しを行う予定です。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 1. (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成16年3月 期
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	2,673	—	—	—	3,202
2. 受取手形及び売掛金	19,284	—	—	—	22,219
3. たな卸資産	8,010	—	—	—	6,869
4. その他	1,762	—	—	—	1,176
流動資産合計	31,730	—	—	—	33,468
II 固定資産					
1. 有形固定資産	22,189	—	—	—	20,303
2. 無形固定資産	102	—	—	—	101
3. 投資その他の資産	5,310	—	—	—	5,202
固定資産合計	27,602	—	—	—	25,606
資産合計	59,332	—	—	—	59,075
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	13,721	—	—	—	13,901
2. 短期借入金	4,961	—	—	—	6,959
3. 賞与引当金	415	—	—	—	792
4. その他	7,935	—	—	—	6,802
流動負債合計	27,033	—	—	—	28,455
II 固定負債					
1. 社債	200	—	—	—	200
2. 長期借入金	5,943	—	—	—	4,528
3. 退職給付引当金	3,507	—	—	—	3,378
4. 役員退職引当金	272	—	—	—	399
5. その他	589	—	—	—	363
固定負債合計	10,513	—	—	—	8,869
負債合計	37,546	—	—	—	37,325
(少数株主持分)					
少数株主持分	320	—	—	—	326
(資本の部)					
資本合計	21,465	—	—	—	21,422
負債、少数株主持分及び 資本合計	59,332	—	—	—	59,075

(注) 四半期財政状態の開示は、前年同四半期については行っていないため記載しておりません。

## 2. (要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科目	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
I 売上高	15,364	13,625	1,739	12.8%	61,609
II 売上原価	12,326	—	—	—	50,293
売上総利益	3,037	—	—	—	11,315
III 販売費及び一般管理費	2,324	—	—	—	9,107
営業利益	713	—	—	—	2,208
IV 営業外収益	78	—	—	—	312
V 営業外費用	98	—	—	—	322
経常利益	693	—	—	—	2,198
VI 特別利益	15	—	—	—	56
VII 特別損失	9	—	—	—	166
税金等調整前四半期 (当期)純利益	699	—	—	—	2,087
税金費用	279	—	—	—	828
少数株主利益	△ 3	—	—	—	32
四半期(当期)純利益	423	—	—	—	1,227

(注) 売上高以外の四半期財政状態の開示は、前年同四半期については行っていないため記載していません。

## 3. (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区 分	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期)	(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)			
純利益	699	—	2,087
減価償却費	539	—	2,218
売上債権の増減額(増加:△)	3,337	—	△ 2,150
その他の支出	△ 1,931	—	△ 288
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,644	—	1,867
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による 支出	△ 2,187	—	△ 3,433
その他の収入	79	—	806
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,108	—	△ 2,627
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金増減額(減少:△)	△ 1,881	—	300
長期借入れによる収入	1,939	—	2,620
長期借入金の返済による支出	△ 855	—	△ 1,979
その他の収入	△ 289	—	△ 56
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,087	—	883
IV 現金及び現金同等物に係る換算 差額	△ 4	—	△ 3
V 現金及び現金同等物の増減額 (減少:△)	△ 554	—	119
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,964	—	2,845
VII 現金及び現金同等物の期末残高	2,433	—	2,964

(注) 四半期財政状態の開示は、前年同四半期については行っていないため記載しておりません。